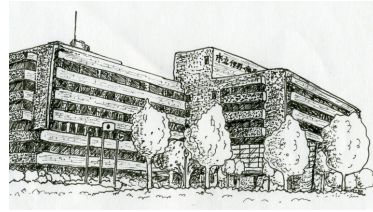


# 市立伊丹病院 ボランティア瓦版



平成 21 年 8 月 31 日 No.2

市立伊丹病院は、多くのボランティアの皆さんに支えられて、患者様に喜んでいただけるサービスを提供しています。

病院内で活動していただいているボランティアグループの皆さんから、他病院でのボランティア受け入れや活動を紹介してもらいたいという声がありました。今回は、病院玄関横の花壇と裏玄関の花壇に苗を供給してくださっているボランティアグループを紹介させていただきます。

「昆陽南公園苗圃  
を活用する会」  
会長:辻井玲子

昆陽南公園を拠点とし、園内にある圃場地に種を蒔き育て、花壇、プランターに植栽しているボランティアグループです。

36名の会員が4班に分かれ、毎日1日も欠かさず活動をし、公園を維持管理をされています。昨年度は兵庫県花まちづくりコンクール優秀賞に輝き、本年度は県推薦で全国花のまちづくりコンクールの最終選考8グループに選ばれました。

種まきから育てた苗は伊丹市内の公共施設約10ヶ所に供給されています。

当院の「昆陽池緑クラブ」と「笑笑」のボランティアグループに苗の供給を春と秋の2回していただいています。昆陽南公園は「昆陽南公園苗圃を活用する会」の皆さんの行き届いた管理で四季折々気持ちの良い花々で埋め尽くされとても癒される空間になっています。皆さんも一度訪れてみてはいかがでしょうか。



美しい花々に彩られた  
昆陽南公園



病院ボランティア  
「せせらぎ」の  
新たな活動紹介

病院ボランティア「せせらぎ」グループの皆さんに、総合受付案内が終了した後の時間を利用して中庭の花の水やりをしていただけることになりました。中庭は風の通りが悪いので水不足になると、たちまち花たちが悲鳴をあげてぐったりします。その光景をみかねて

8月の暑い盛りから水やりのボランティアを自発的に申し出てくださいました。おかげで花たちは元気になりました。

ありがとうございます。

